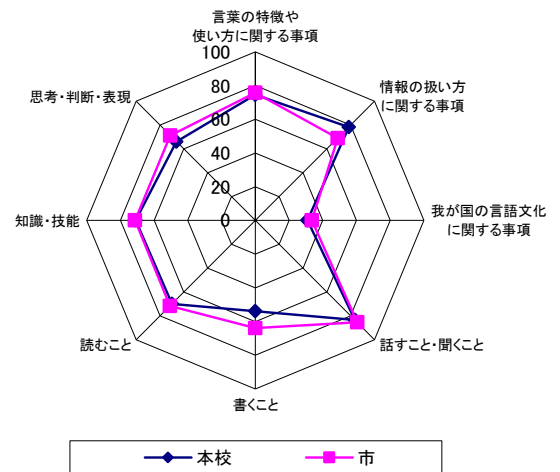


宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.6	75.8	77.5
	情報の扱い方に関する事項	78.4	69.1	67.0
	我が国の言語文化に関する事項	30.9	33.5	37.2
	話すこと・聞くこと	83.5	85.5	86.5
	書くこと	53.8	63.9	65.8
	読むこと	69.9	71.6	69.5
観点別	知識・技能	70.9	71.3	72.9
	思考・判断・表現	66.2	71.3	71.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の正答率は、74.6%と市の正答率よりやや低い。 ○「文と文との関係を理解している。」の設問では、市の正答率を1.4ポイント上回っている。 ●「敬語について理解し、正しく使っている。」の設問では市の正答率を3.0ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読や読書など、漢字に多く触れる機会をもつとともに、漢字練習を継続的に行えるように指導していく。合わせて、現学年だけでなく、前年度までの復習も行っていく。 ・日常的に敬語を使う意識を高め、正しい使い方や場面を覚え、身に付くように指導していく。
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の正答率は、78.4%と市の正答率より高い。 ○情報と情報の関係についてよく理解できている。「原因と結果など情報と情報との関係について理解している。」の設問が、市の正答率より9.3ポイント上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語以外の教科においても、資料から分かることを簡潔にまとめたり、目的や相手に合わせて文章を簡単に書いたりできるように、引き続き指導をしていく。
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の正答率は、30.9%と市の正答率より低い。 ●「語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している。」の設問では、市の正答率を2.6ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や本の中で使われている語句や、日常使っている語句について、意味や語源を国語辞典で調べる活動を取り入れ、言語文化への興味・関心を深め、継続させていく。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の正答率は、83.5%と市の正答率よりやや低い。 ●「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。」の設問では、66.0%と市の正答率を3.0ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語以外の教科においても、目的に合わせて話し合い活動を充実させ、相手の話を聞くだけでなく、聞いた内容に対して自分がどのような考えをもっているかを伝えられるようにし、表現力を向上させていく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の正答率は、53.8%と市の正答率を4.1ポイント下回っている。 ○「目的に応じて、文章を簡潔に書いている。」の設問では、市の正答率をやや上回っている。 ●「文章を書く」4つの記述式の正答率は、市の正答率より低い。中でも「予想される反論とそれに対する意見を書いている。」の設問では、市の正答率を16.1%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文などの文章を読む機会を増やしたり、文章をくわしく書くために必要なことを確認したりして、文章表現を豊かにする素地を養うようにする。 ・指定された長さや段落構成で文章が書けるように、授業の中でも条件に合わせて書く時間を設定していく。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・領域の正答率は、69.9%と市の正答率より低い。 ○「登場人物の心情について、描写を基に捉えている。」の設問では、市の正答率を7.5ポイント上回っている。 ●「目的に応じて、文章の情報を整理している」の設問では、市の正答率を11.2ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・描写を基に文章の内容を捉えることはできているので、文章全体の構成を捉えられるように、要旨をまとめる活動などを取り入れていく。